

令和3年度 宮城県地域年金展開事業実施結果

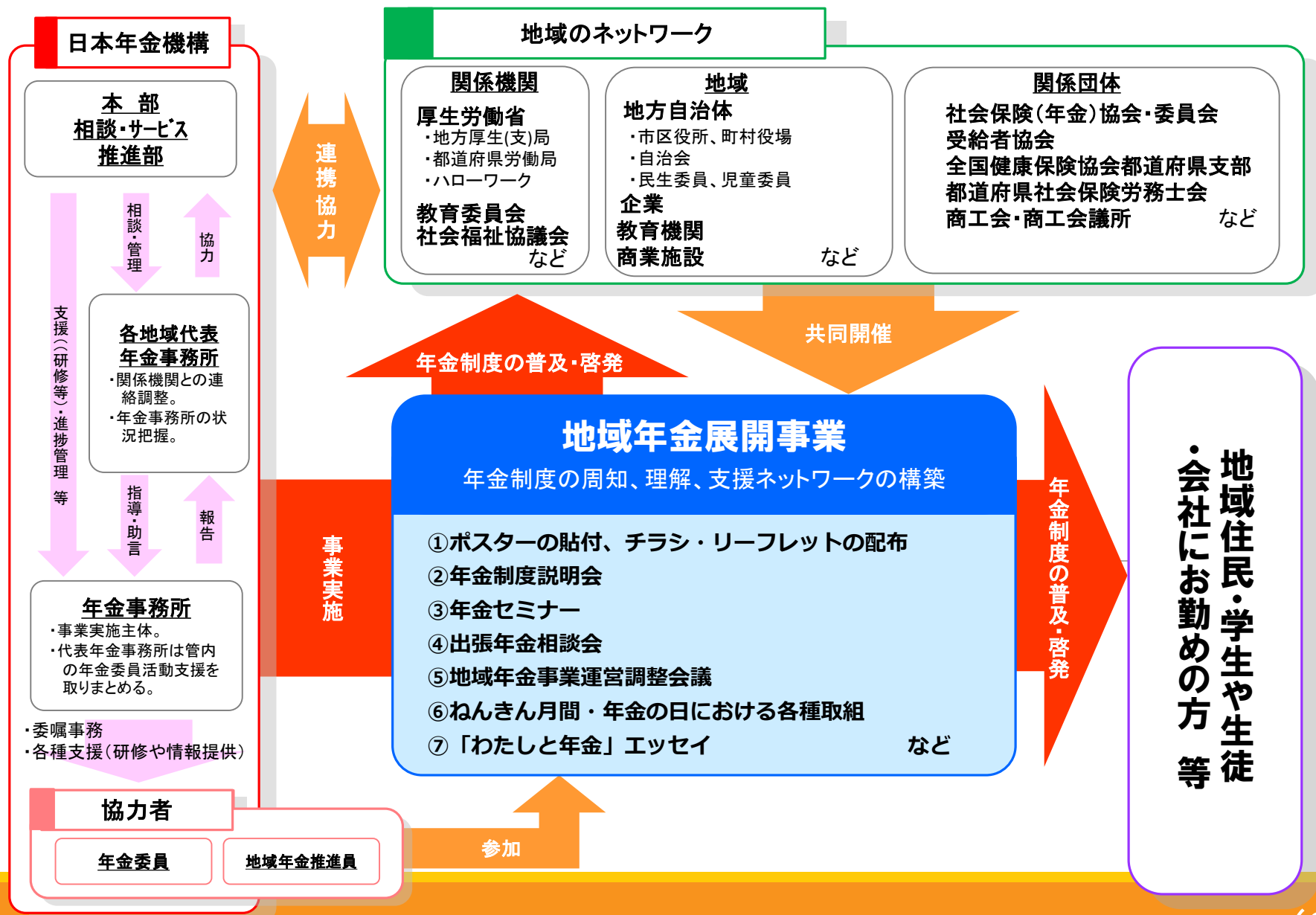


仙台東年金事務所
(宮城県代表年金事務所)

目 次

1 地域年金展開事業の概要	P2～3
2 地域連携事業	P4～9
3 年金セミナー事業	P10～14
4 地域相談事業	P15
5 年金委員活動支援事業	P16～19
6 「ねんきん月間」「年金の日」の取組	P20
7 宮城県地域年金事業運営調整会議	P20
8 年金事務所の取組	P21～26

1. 地域年金展開事業の概要 (1/2)



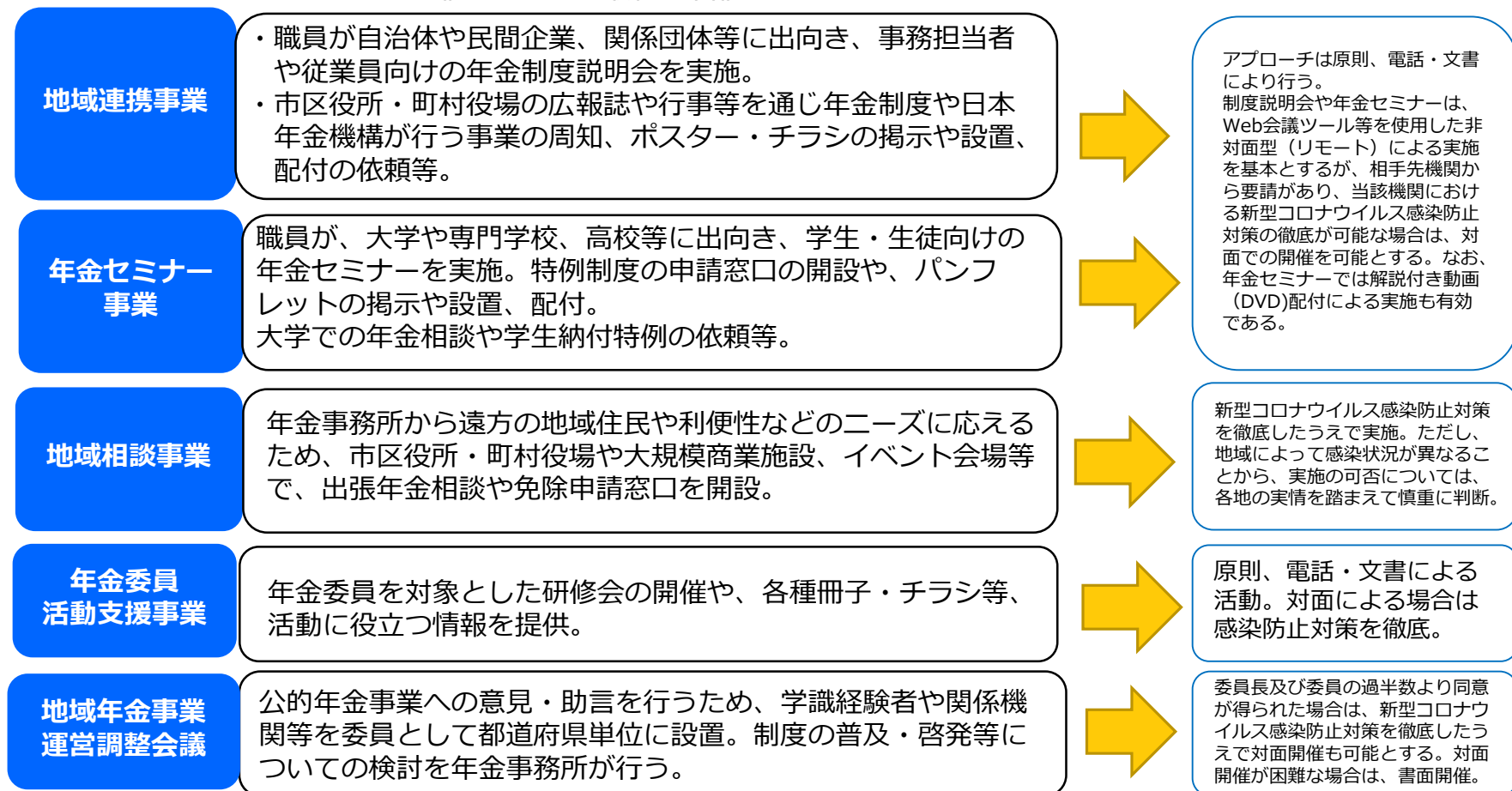
1. 地域年金展開事業の概要 (2/2)

地域年金展開事業の主な取組

- ◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。
- ◆なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した取組を実施しています。

《これまでの取組内容》

《コロナ禍での取組内容》



2 地域連携事業

(1) 事業の取組状況

① 自治体との連携

県内の市区町村職員を対象に各年金事務所で事務研修会等を開催、国民年金事務担当者に対し情報誌「かけはし」を隔月で発行し、制度周知及び情報共有を図りました。

また、例年実施している新任担当者向けの研修会のほか、新たにオンラインを活用した障害年金制度の説明会を実施する等して、より一層の連携強化に努めました。

○事務研修会開催状況

	令和3年度 実施回数	令和3年度 出席人数	令和2年度 実施回数	令和2年度 出席人数
仙台東	3回	31名	2回	18名
仙台北	0回	0名	0回	0名
仙台南	1回	9名	0回	0名
石巻	2回	19名	0回	0名
古川	2回	26名	13回	76名
大河原	2回	16名	0回	0名
計	10回	101名	15回	94名

○市町村向け情報誌「かけはし」



② 事業所の社会保険事務担当者向け事務説明会の実施

近年、新型コロナウイルス感染症拡大等により、新規適用事業所を対象とした事務説明会を開催することができない状況でした。令和3年度も新型コロナウイルスの収束は見込めない状況が続きましたが、日本年金機構ではWeb会議サービス(Microsoft Teams)を使用したオンラインによる事務説明会を計画し、宮城県内年金事務所が協力して5回の新規適用事業所事務説明会を開催した結果、延べ85事業所から参加いただきました。

また、年度後半には全国健康保険協会宮城支部にも説明会に参加していただき、両方で連携して新規適用事業所へのわかりやすく丁寧な説明を行いました。

○事務研修会開催状況

	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	合計
回数	1回	2回	1回	1回	5回
事業所数	9社	49社	17社	10社	85社



③ 関係団体等と連携した研修会・説明会等の実施

各関係団体主催または共催による研修会・説明会等への講師派遣、宮城県社会保険協会発行の広報誌「社会保険みやぎ」による制度周知、ハローワークと税務署と共催でマザーズハローワークでの説明等を行いました。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響はありましたが、Web会議サービスを活用したり、徹底した新型コロナウイルス感染症対策を行う等して取り組みを推進し、令和2年度より開催回数を増加することができました。

○関係団体等研修会等開催状況

	令和3年度 実施回数	令和2年度 実施回数	開催年金事務所	内容
社会保険協会	2回	0回	仙台東年金事務所	年金シニアライフセミナー
年金協会	5回	2回	仙台東年金事務所 仙台北年金事務所	地区指導員・地区役員会研修会
公共職業安定所 (ハローワーク)	1回	0回	仙台東年金事務所	求職者向け「税」「社会保険」セミナー
適用事業所	1回	3回	仙台東年金事務所	農協退職予定者向けセミナー
その他	2回	2回	仙台東年金事務所	新設法人説明会
計	11回	7回		

④ 「第3回宮城県年金ポスターコンクール」の実施

県内中学生を対象として、県内では3回目となる宮城県年金ポスターコンクールを開催しました。応募状況については、昨年度の14校を上回る県内20中学校から63作品の応募があり、その中から厳正なる審査の上、各賞が決まりました。

作品の中には年金によって将来の自分や大切な人を守りたいという優しさにあふれた作品や、子供たちがお年寄りをしっかり支えている作品等、こちらが感心させられる作品を多数応募いただきました。

また応募いただいた作品について、昨年度までの東北電力ビルや青葉通り地下道での展示に加え、石巻駅・古川駅・大河原駅においてもポスター展示することができました。

最優秀賞



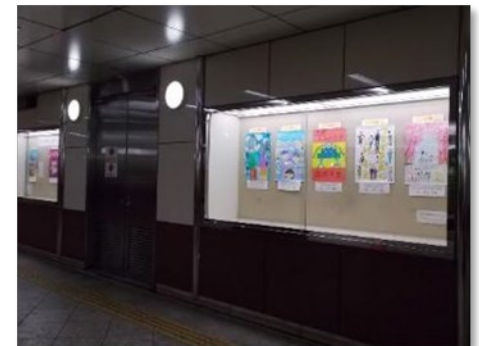
仙台市立広瀬中学校
佐藤 梨愛奈さん



東北電力ビルアクアホール展示会

『審査アドバイザーからのコメント』

最初に目に飛び込んできた一枚でした。笑顔がすてきなポスターです。描写、色のセンス、配色、構図を含め良く描けています。頭を少し傾けているポーズや、前後に重なる配置は構図上とても効果的です。それは、多くの人が見守っている姿を想像させます。「未来の自分と大切な人」を守る「年金」のイメージをうまく伝える作品です。



青葉通り地下道展示会



古川駅ポスター展示

厚生労働省
東北厚生局長賞



仙台市立第一中学校
河野 美奈希さん

『審査アドバイザーからのコメント』
ほのぼのとして安心感を、見る人に与えるポスターです。描かれている人物と文字がバランス良く配置され、その安定感からしっかり支えている国民年金のイメージが伝えられています。顔の表情やポーズがとてもかわいらしい作品です。

『審査アドバイザーからのコメント』
年代や職業、いろいろな立場の人がいることを衣服の袖だけで表現している見事なポスターです。その多様な人々が画面中央のきれいなハートを支えることで「みんなで支えよう年金」をストレートに伝えています。背景の空を見つめていると時間を忘れていつまでも眺めていたくなる程うまく描けています。アイデア、描写、色、構図と、とても素晴らしい作品です。

宮城県
社会保険協会長賞



富谷市立東向陽台中学校
武田 しおりさん

優秀賞(3点)



仙台市立広瀬中学校
高橋 美月さん



仙台市立広瀬中学校
佐藤 あさひさん



富谷市立東向陽台中学校
植松 怜愛さん

(2) 取組状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対応
新型コロナウイルス感染症の影響が残る中で地域と連携して年金事業の周知していくためにWeb会議サービスを活用した制度説明会を積極的に取り入れました。そのアンケート結果では「気軽に受講することができる」「移動時間が短縮できてよかった」などの意見をいただく等、概ね好評でした。	引き続き日本年金機構の組織目標に「オンラインビジネスモデルの着実な実現」を掲げ、Web会議サービスを最大限活用して地域連携事業を進めます。また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、対面による会議・説明会の重要性も再認識し、状況に応じてオンラインと対面を使い分けて事業を推進していきます。
年金ポスターコンクールについては教育機関への積極的な周知活動等により、昨年度を上回る学校に参加していただきました。また、ポスターの展示を県内主要駅にも拡大することができ、年金事業の周知に寄与することができました。	新型コロナウイルス感染症拡大による影響が少ない年金ポスターコンクールやエッセイ募集については、若年層を中心に年金制度へ関心を持っていただくための重要な取組みとして、今後とも積極的に周知していきます。

3 年金セミナー事業

(1) 事業の取組状況

① 年金セミナーの実施状況

次世代の主役となる若年層に年金制度の仕組みや必要性について理解を深めていただくため、年金セミナー事業を推進しています。令和3年度も地域年金推進員による積極的なアプローチ、年金事務所からの管内各教育機関に協力依頼を行い、年金セミナー実施につなげました。令和3年度は年金セミナーにおいても、オンラインによる実施を強く推進し、前年度以上に実施することができました。

○年金セミナー実施状況(年金事務所別)

	令和3年度 実施校数	令和3年度 実施回数	令和2年度 実施校数	令和2年度 実施回数
仙台東	23校	31回	13校	17回
仙台北	11校	17回	10校	12回
仙台南	8校	11回	9校	13回
石巻	14校	16回	9校	14回
古川	11校	11回	10校	11回
大河原	10校	10回	9校	10回
計	77校	96回	60校	77回

○年金セミナー実施状況(教育機関別)

	令和3年度 実施校数	令和3年度 実施人数	令和2年度 実施校数	令和2年度 実施人数
大学、短大	12校	977名	5校	412名
各種学校	18校	843名	13校	767名
高等学校	45校	4,748名	37校	2,671名
中学校	2校	18名	2校	5名
計	77校	6,586名	57校	3,855名

※実施校数については1校を複数の年金事務所で年金セミナーを実施するケースもあり、右記教育機関別実施状況表の校数と相違しています。

② 関係団体との協力連携

これまで、仙台国税局及び全国健康保険協会宮城支部、宮城県社会保険労務士会と協力して年金セミナーの共同開催を行っており、関係団体と連携して年金制度等の周知に努めています。

また、宮城県教育庁や仙台市教育局を訪問し、年金セミナー周知のほか「わたしと年金」エッセイや年金ポスターコンクールの周知依頼も併せて行い、そのうえで個別に県内すべての教育機関への協力依頼を行いました。

○関係団体との共同開催状況

	令和3年度 実施回数	令和3年度 対象人数	令和2年度 実施回数	令和2年度 対象人数
宮城県社会 保険労務士会	6回	113名	9回	315名
仙台国税局	3回	194名	3回	90名
全国健康保険協会 宮城支部	1回	88名	1回	90名
計	10回	395名	13回	495名

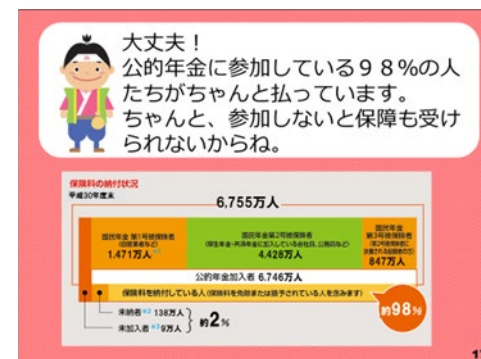


松島高校で開催された年金セミナーの様子

③ 年金セミナー用動画(DVD)の活用

日本年金機構では新型コロナウイルス感染症の影響による年金セミナー減少の対策として、令和2年度に作成した年金セミナー用動画(DVD)を活用しています。動画の内容は桃太郎を題材としたアニメーションを取り入れる等して、学生・生徒の皆さんが興味を持ちやすいように工夫された動画となっています。

また令和3年度には新たに退職者向け動画や外国人向け動画を作成し、DVDのほか日本年金機構ホームページや厚生労働省YouTubeでも視聴可能となっています。



④ 地域年金推進員の活動

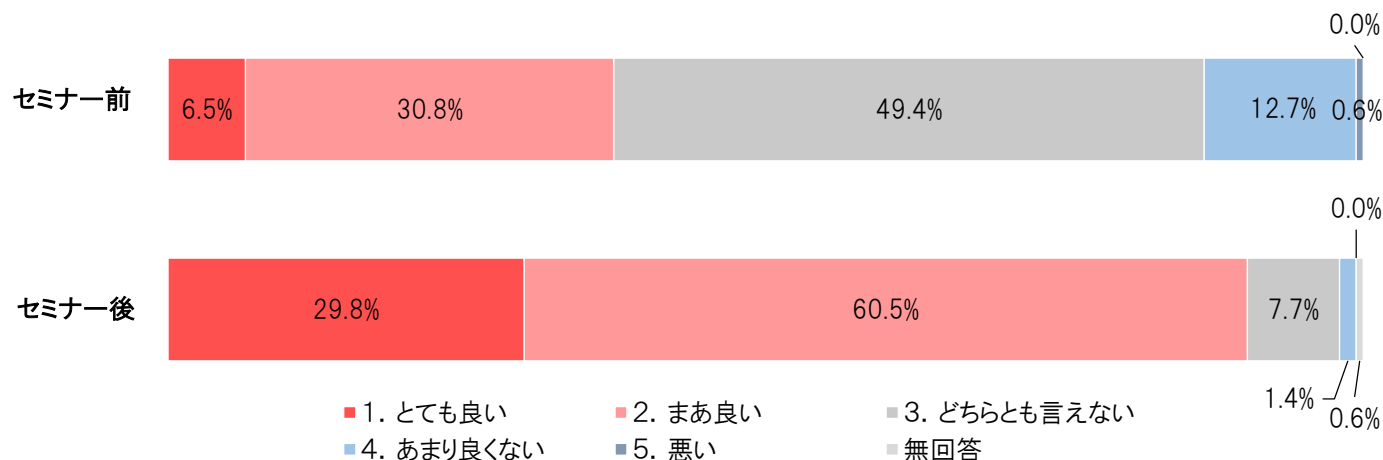
地域年金推進員は宮城県内に1名配置されており、県内全域を対象として教育機関への年金セミナー、制度説明会のアプローチやセミナーの講師を行っています。令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から電話によるアプローチが中心となりましたが、オンラインやDVDによる年金セミナーを活用することで効果的なアプローチを行っています。

※ 地域年金推進員とは？

- ☞ 次代を担う若い世代(学生)に対して、公的年金制度の仕組みや基本理念について正しい理解の普及を推進するため、教職員OB、現役の教職員、学校との関係や学生へ伝える能力があると拠点長が判断する者を委嘱しています。地域年金推進員は、学校への年金セミナー実施の依頼や打ち合わせ等の活動をしています。

年金セミナーアンケート結果(宮城県) ～「年金」に対するイメージ～

対象(アンケートを実施したすべての大学・短大・各種学校・高等学校) 令和3年度分



<主な感想>

・初めは、年金は高齢者のために支払っていて、私達が高齢者になった時、支払われることはないって思っていたけど、今回セミナーを受けて、違うのだということが理解できた。(大学生)

・自分たちが税金を払うことで年金を必要としている人達のためになるし、自分の老後を支えてくれるのも次の世代の人達だと思うと、今払って損はないと思った。(大学生)

・動画が分かりやすく良かったです。また、実際に考えることでイメージすることができました。ありがとうございました。(大学生)

・年金についてほとんど何も知らない状態だったので、今回お話を聴いて少し年金について知ることができて良かったです。(専門学校生)

・年金について深く考えたことがなかったが、20歳から関わっていかなければならない身近なものだと気づいたことで危機感を持つきっかけとなった。(専門学校生)

・国民年金へのイメージ、考え方が変わりました。ありがとうございました。(高校生)

・よく言葉では聞けど、内容をあまり理解してなかったので、今回知れて良かったです。(高校生)

(2) 取組状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対応
年金セミナー後のアンケートでは年金に対するイメージの向上が確認されるとともに、オンラインによる年金セミナーも対面による年金セミナーと同様の効果が期待される結果となりました。	アンケート結果によりオンラインによる年金セミナーについて有効であることが確認できたため、より一層オンライン年金セミナーを推進していきます。また新たに作成された退職者向け・外国人向け動画も活用し、より幅広い対象への年金セミナー実施を目指します。
新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった令和2年度と比較すると、令和3年度はWeb会議サービスやDVDを活用することで前年度の実施件数を大きく上回ることができました。	オンラインではなく対面による年金セミナーについても一定の要望があるため、教育機関の要望に合わせた年金セミナーを提案し、より多くの教育機関での実施を目指します。

4 地域相談事業

(1) 事業の取組状況

① 自治体等における出張年金相談の実施

例年、年金事務所に来所するには時間のかかるお客様の利便性を考えて、年金事務所職員が遠隔地にある自治体等において出張年金相談を実施していますが、新型コロナウイルス感染症拡大予防等のため、常設の出張相談所のある気仙沼市以外の出張年金相談は行っていません。

○出張相談実施状況

年金事務所	実施場所	令和3年度 実施回数	令和3年度 対象人数	令和2年度 実施回数	令和2年度 対象人数
石巻	気仙沼市	242回	3, 521名	243回	3, 940名
石巻	南三陸町	0回	0名	5回	18名
計		242回	3, 521名	248回	3, 958名

(2) 取組状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対応
地域相談事業においては新型コロナウイルス感染症の影響が大きく表れる項目となっており、積極的な出張相談は行っていない状況です。	自治体における出張年金相談は、地域住民の利便性をニーズを確認しつつ、自治体との連携を図りながら実施を検討していきます。

5 年金委員活動支援事業

(1) 事業の取組状況

① 年金委員への研修会、意見交換会

令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により制限がある中での対応となりましたが、下期にはWeb会議サービスを活用し令和4年4月制度改正にかかるオンライン研修を数回に分けて実施し、計320人の職域型年金委員の皆様に参加いただきました。

全国年金委員研修については令和2年度に引き続き、日本年金機構のテレビ会議システムを使用したオンライン開催となりました。研修終了後には、参加いただいた年金委員の方々と意見交換を行い、今後の年金委員活動についてのご意見をいただきました。

また、令和3年度下期より年金委員の組織的活性化を図るため、各都道府県に地域型年金委員連絡会を設置しました。連絡会の設置により都道府県で統一的に年金事務所との情報共有、活動依頼、支援事項の伝達及び地域型年金委員相互間の情報共有を図ります。



仙台東年金事務所での全国年金委員研修の様子

② 日本年金機構からの情報提供

日本年金機構本部から職域型及び地域型年金委員に対して、制度の活用と周知・広報を目的として「年金委員活動の手引き」をはじめ、年金制度全般にかかる資料や年金委員向け広報誌等を送付し、情報提供を行いました。

また年金委員への効果的・効率的な情報発信を行うために日本年金機構ホームページ内「年金委員通信」のリニューアル、掲載頻度の向上、研修資料の拡充等を行うこととしています。

③ 年金委員表彰式の実施

多年にわたり年金事業の推進及び発展に貢献された年金委員の方々に、年金委員功労者表彰伝達式を開催しました。

開催にあたっては全国健康保険協会宮城支部、宮城県社会保険協会及び宮城県社会保険委員会連合会との共催により実施しました。

開 催 日	令和3年11月26日	
開催場所	ホテルメルパルク仙台	
表彰対象	厚生労働大臣表彰	2名
	日本年金機構理事長表彰	6名
	全国健康保険協会理事長表彰	5名
	日本年金機構理事表彰	17名
	全国健康保険協会宮城支部長表彰	8名
	仙台東年金事務所長感謝状	5名
	仙台北年金事務所長感謝状	5名
	仙台南年金事務所長感謝状	5名
	石巻年金事務所長感謝状	5名
	古川年金事務所長感謝状	3名
	大河原年金事務所長感謝状	2名

④ 年金委員の委嘱拡大に向けた取組

令和3年度は年金委員の委嘱拡大について最重点課題とし様々な取り組みを行いました。職域型年金委員については、新規適用事業所への勧奨や年金委員未設置事業所への勧奨等を継続的に実施することで、200名以上の委嘱拡大を行うことができました。

また、地域型年金委員についてはこれまで継続的に勧奨してきた日本年金機構OBや社会保険労務士、年金協会等関係団体のほか郵便局、町内会長や民生委員等にも勧奨範囲を広げた結果、50名以上の委嘱拡大を行うことができました。

○年金委員委嘱者数

	職域型年金委員数		地域型年金委員数	
	令和3年度末現在	令和2年度末現在	令和3年度末現在	令和2年度末現在
仙台東	522名	490名	35名	24名
仙台北	593名	527名	29名	24名
仙台南	453名	426名	26名	18名
石 巻	543名	506名	23名	21名
古 川	573名	548名	45名	18名
大河原	319名	297名	12名	8名
計	3, 003名	2, 794名	170名	113名

(2) 取組状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対策
新型コロナウイルス感染症が残る中での取り組みではありましたが、テレビ会議システムやWeb会議サービスを積極的に活用することで、年金委員への情報提供や活動活性化に向けた取り組みを行うことができました。	今後もオンラインを活用した情報提供・情報共有を積極的に行うとともに、新たに日本年金機構ホームページの年金委員ページをリニューアルする等して年金委員への効果的・効率的な情報発信を行います。
年金委員の委嘱拡大を最重要課題として勧奨範囲を拡大するなどして取り組んだ結果、職域型年金委員で200名以上、地域型年金委員で50名以上と大幅に委嘱拡大を進めることができました。	引き続き、職域型年金委員については新規適用事業所への勧奨や年金委員の複数人設置を目指して委嘱勧奨を進めていきます。地域型年金委員については委嘱拡大を進めることと並行して、再編した地域型年金委員連絡会を活用し意見交換や情報共有を積極的に行うことにより年金委員活動の活性化を目指します。

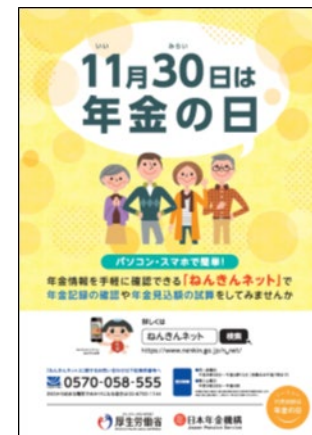
6 「ねんきん月間」「年金の日」の取組

毎年11月を「ねんきん月間」として、公的年金制度の普及・啓発活動を展開しています。特に11月30日(いいみらい)を「年金の日」として、国民の皆様にも公的年金制度を身近に感じていただき、公的年金制度に対する理解を深めていただくことを目的とした取組みを実施しています。

○「ねんきん月間」における取組内容

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響が残り、ねんきん月間についても制限がある中での取り組みとなり、コロナ禍以前に実施していた教育機関における学生納付特例申請相談会や公共施設・商業施設における国民年金保険料納付相談会等の取組みは実施することができませんでした。

しかしながら、第3回宮城県ポスターコンクールの授賞式・作品展の開催をはじめ、年金委員表彰式の実施、年金セミナーの実施、全国年金委員研修の実施等、可能な範囲で積極的な取り組みを行いました。



「年金の日」のポスター

7 宮城県地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度の加入や保険料納付の向上に繋がるよう、地域における支援のネットワーク等を構築し、地域に根ざした年金事業の推進を積極的に図ることを目的として、地域年金事業運営調整会議を開催しているところです。会議でいただいたご意見については、必要に応じて本部関係部署への情報共有を行うとともに、宮城県内の地域年金展開事業の運営の参考にさせていただきます。

8 各年金事務所の取組

仙台東年金事務所

○オンラインによる地域年金展開事業の開始

令和3年度は年金機構のインターネット専用端末を利用したオンラインによる年金セミナーや制度説明会、年金委員研修を実施する取り組みを、管内の年金事務所に先駆けて実施してきました。具体的には宮城県内年金事務所間で協力して、これまで実施することができていなかった新規適用事業所への制度説明会や、職域型年金委員へ対する令和4年4月制度改正に関する研修会、市区町村への説明会等をWeb会議サービスを使ったオンライン形式で実施しました。



市区町村へのオンラインによる
制度説明会の様子

○年金委嘱拡大の取り組み

仙台東年金事務所管内において、新規適用事業所や職域型年金委員が推薦されていない事業所、加えてすでに年金委員を推薦いただいている事業所にも年金委員の複数名設置を依頼する等して、令和3年度は新たに32名の方に職域型年金委員として活動していただくこととなりました。また、地域型年金委員については主に年金協会と協力して委嘱拡大を進め、令和3年度は新たに11名の方に地域型年金委員となっていただきました。今後も職場や地域でご活躍いただく年金委員の委嘱拡大の取り組みを継続していきます。

仙台北年金事務所

○年金セミナー事業

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面によるセミナーは7月からのスタートとなり、上期は1校5回、下期は6校7回の実施となりました。

また、DVDによる年金セミナーを2校2回実施し、さらに今年度はWebによる非対面のセミナーを2校3回実施し、合わせて11校17回の実施となりました。

昨年度にくらべ、実施回数が5回多くなっています。これは新型コロナウイルス感染症の影響により、DVDによるセミナーやリモートセミナーを活用したことが要因と考えます。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大により、対面でのセミナーを避ける傾向にあり、リモートセミナーを希望する学校も増えつつあります。

今後は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況や、学校側の要望により、セミナー実施方法に選択肢が増えたので、開催しやすくなりました。

アンケート結果をまとめると、「年金の大切さを知ることができた」「20歳前に知ることができて良かった」等の回答も多く、若い世代から年金制度について知ってもらうことがとても大切であることを実感できました。



聖和学園短期大学における年金セミナーの様子

仙台南年金事務所

○地域連携事業

地域のニーズにお応えするため、各種団体への講師派遣や出張相談会、制度説明会を計6回実施しました。特に、年金月間にあたる11月に実施した宮城県立支援学校岩沼高等学園の障害年金制度研修会では、受講された父兄の方々から日頃感じている疑問や不安、要望等について、学校関係者の方を含めて情報交換を行うなど双方向的に展開したことから、非常に有意義であったとの感想が出されました。

今後も公的年金制度の周知、理解、支援のネットワークを拡大し、地域に密着した身近な「存在」であるよう取り組んでいきます。

○年金セミナー事業

若年層への年金制度に対する理解をより深めることを目的に高校・大学・専門学校を中心にセミナーを実施してきましたが、令和3年度は仙台南年金事務所としては初めてとなる中学校での年金セミナーを開催することができ、大変好評をいただきました。

ここ最近では、学校側から事前に講義に関する要望をいただくことも多く、年金セミナーが学校のカリキュラムの中でも重要視されていること、また授業のひとつとして定着してきたことを感じます。

これからも各学校のニーズに合わせた工夫をしながら、若い世代の方々に公的年金の理解を深めていただく取組みを推進していきます。



年金セミナーの様子

石巻年金事務所

○年金セミナー事業

令和3年度は14校、合計16回の年金セミナーを実施しました。内訳としては、対面形式が3校4回、Microsoft Teamsによるオンライン形式が1校2回、DVD視聴形式が10校10回となっております。

2年度に比べて学校数で5校、回数で2回多く実施できましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、非対面での年金セミナーのニーズが増加している傾向です。

いずれの年金セミナーにおいても、実施後のアンケートでは「年金のイメージが良くなった。」との回答が大幅に増加し、年金セミナーによる年金制度の周知の重要性を感じています。



石巻市立桜坂高校での年金セミナーの様子

○地域相談事業

令和3年度の出張年金相談件数は、気仙沼出張相談所において3,521件(一日あたり平均14.5件)実施しております。

令和3年1月以降、事前予約による相談が周知されたことに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあったことから、気仙沼出頭相談所の相談者数は、2年度に比べて419件減少しましたが、今後も事務所と気仙沼出張相談所と連携を取りながら、お客様に寄り添った対応を取り組んでいきたいと考えております。

古川年金事務所

○年金セミナー事業

昨年度の開催回数11回を上回る目標を立て、高等学校・大学・専門学校を中心に実施しました。

新型コロナウイルスの影響により実施を見合わせた学校もありましたが、DVDによる動画提供での開催も併せて実施し、昨年度と同数の11校で年金セミナーを開催することができました。

その中で、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンライン（非接触）での開催を検討し、1校ではありましたが、開催することができました。



宮城誠真短期大学での年金セミナー風景

○年金委員活動支援事業

前年度に引き続き、年金委員の皆様に対しての連絡会・研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で開催することができず、広報誌、「ねんきん月間」「年金の日」を周知するポスターの送付により、年金委員との連携を絶やさないよう取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止につながる「電子申請」、「ねんきんネット」の利用促進を図るための周知チラシの送付についても継続して取り組みました。

令和3年度の年金委員の委嘱拡大により、年金委員が増加したこともあり、令和4年度は年金委員への活動支援の充実を図る必要を感じました。

大河原年金事務所

○年金セミナー事業

引き続きコロナ禍のため8月からのスタートとなりましたが、高等学校を中心に10校で開催することが出来ました。対面式での開催は4校となりましたが、オンライン3校、DVD動画視聴3校と非接触による開催も含め、前年度より開催校数を増加することが出来ました。今後も、講師のスキルの向上を図り、引き続き分かりやすい年金制度の周知に努めていきます。



伊具高等学校での年金セミナーの様子

○年金委員活動支援事業

前年度に引き続き、地域型及び職域型年金委員向けの連絡会・研修会での制度周知は、コロナ禍のため文書による周知が主となりました。

令和3年度の年金委員の委嘱拡大により、年金委員が増加したこともあり、令和4年度は年金委員への活動支援の充実を図っていきます。